



謹賀
新年

年頭に当たり

松之山自治振興会会長 樋口 一次

明けましておめでとうございます。
地域の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
日頃より、自治振興会にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今冬の雪は昨年に比べると少ないですが、実際どうなるか。せめて豪雪と言われない程度の雪であって欲しいと願います。

昨年から始まった「令和の米騒動」と言われる米の供給不足や価格高騰は収まることなく、未だ米情勢をめぐっては消費者・生産者ともに混乱の最中にあります。国全体での食料安全保障の確保に加え、農業者が希望を持って営農継続出来るような政策となるよう願っています。

高齢化と人口減で、地域の困りごと解決に向けて取り組むことが必要であり、昨年からの地域支援員1名を増員し、2名体制で取り組みを始めています。

各企業やボランティアのご協力で、10月には買い物支援事業、お買い物バス試験運行を実施し23名の利用者がありました。参加者の満足度が高かったので3月にもう一度実施し、来年度の本格運用に向かう予定です。

令和4年に立ち上げた移住定住教育環境促進部会では、官民が連携して取り組む「移住定住交流推進事業」を活用し、まつのやま学園への入学者と移住者の増加を進めています。学園の教育理念が広く知られ、地域外からの入学者が増加しており、3学期1月より、藤倉ハウスの新たに2名が入寮します。また1月10日から1泊2日で、雪国の暮らしと学びを親子で体験する「冬の雪里留学体験ツアー」を実施します。雪里留学にスポットをあてた体験プログラムで、移住増加に繋がることを期待しています。

2026:令和8年度事業

来年度まちづくり助成事業

申請締切は2月20日です

❖ 募集案内は別途回覧用紙でご確認ください。申請締め切り日厳守です。

期日を過ぎると来年度予算編成に間に合いませんのでよろしくお願い致します。

【問い合わせは事務局中島まで】

松之山支所内 569-3131

松代病院の存続に努めて参りましたが、4月から入院機能の無い「県立まつだい診療センター」となることを12月県議会で可決し、入院機能は県立十日町病院に移ることになってしまいました。山間豪雪地であり入院できる病院が遠くなるのは厳しいと、地元の不安は未だ残っています。県の責任で山間医療の厚い取り組みを願っています。
県病院局では、県立松代病院の吉嶺院長と県立十日町病院の清崎院長より、今後の両病院の運営体制等について説明懇談会の開催を計画しています。松之山会場は1月24日(土)午後1時30分から休養村センターになります。
地域社会と生活を支える身近な医療機関に生まれ変わり、地域住民が安心して暮らせる事を強く願っています。
終わりに、皆様が健康で災害の無い明るい年でありますことを祈念し、年頭のあいさつといたします。

県立松代病院の「県立まつだい診療センター」移行が決定 県への要望が確実に実行されるようこれからが本番

◇第2回住民説明会以降の動き◇

- 9/28 (日) 県病院局による2回目住民説明会開催
- 9/30 (火) 第4回松代松之山地域医療推進協議会
- 10/6 (月) 県病院局と松代松之山地域医療推進協議会との意見交換会
- 10/7 (火) 魚沼圏域地域医療構想調整会議開催
- 10/10 (金) 第5回松代松之山地域医療推進協議会
- 10/21 (火) 松代松之山地域の医療について市長面談
- 11/1 (土) 松代病院を守る会県知事に要望書提出
- 11/11 (火) 松代松之山地域医療推進協議会県知事に要望書提出
- 11/15 (土) 最後まであきらめない！松代病院を守る会大集会開催
- 11/21 (金) 第6回松代松之山地域医療推進協議会
- 12/2 (火) 新潟県議会 12月定例会開会
- 12/5 (金) 同本会議一般質問で小山議員と牧田議員が関連質問
- 12/19 (金) 同常任委員会採決
- 12/22 (月) 同本会議採決(県立松代診療センター化決定)
- 12/23 (火) 第7回松代松之山地域医療推進協議会
- 1/24 (土) 十日町病院・松代病院長による地域懇談会開催【予定】
- 1月下旬 まつだい診療センターの詳細パンフを全戸配布【予定】



県病院局が進めている松代病院無床診療所化移行については、12月22日の県議会12月定例会最終日に関係条例案が提案され、令和8年4月1日より初の県立診療所「県立まつだい診療センター」を設立することが議決されました。

昨年3月の県病院局からの突然の公表以降、まつだ地域振興会と松之山自治振興会では、両地域の医療体制存続等について協議する「松代松之山地域医療推進協議会」を立ち上げ、市と連携しながら様々な角度から検討を進めてきました。一方入院機能の存続こそ地域医療の要とする考えに立つ「松代病院を守る会」では署名活動や講演会を行い、県知事に要望書を提出するなど力強い活動を繰り広げていただきました。

無床診療所化によりこれまで松代病院が築き上げてき

た高齢者への手厚い医療と看護をどうするかは、両組織の共通した課題であることには変わりありません。

松代松之山地域医療推進協議会では、県病院局がこの課題に対してどこまで踏み込んだ提案がなされるのかを、2回の地元説明会と病院局との懇談会などを通して確認を続けてきましたが、職員体制など核心的な部分で明確な説明までなされなかったことを受け、11月11日付で次の4項目を記した「持続的な地域医療の確保に関する要望書」を県知事に提出しました。

一、県が責任をもって地域の診療体制を維持すること。
二、医療提供機能を見直す場合は、患者に十分配慮すること。

三、老朽化した施設を適正な機能・規模の新たな施設として建て替えること。

四、十日町病院の機能(透析・精神・分娩)を強化すること。

当日県知事からは、基本的にこの4項向に沿って対応していきたい旨の発言がありました。(この件については11月2日発行の推進協議会会報第5号でお知らせしてあります。)

12月5日の県議会12月定例会の一般質問では、地元選出の小山議員が松代病院関連に集中した質問を行い、地元から提出された要望内容等に対する県の対応を質しました。また上越地区選出の牧田議員からは、松代病院を守る会で取り組んできた有床存続への対応を質しました。これに対する県知事及び病院局長の答弁は、これまで説明してきた内容をより具体化するとともに、丁寧な説明を続けることで地域の理解をいただく旨の内容でした。なお一般質問の全容は、新潟県議会ホームページから12月定例会に進むと録画で視聴できます。

県立まつだい診療センターへの移行が4月に決定したことを受け、まつだ地域振興会と松之山自治振興会では県立十日町病院院長と県立松代病院院長を招き、より具体的な運営体制等について説明していただく懇談会を1月24日に両会場で計画しています。詳しくは別途配布の推進協議会会報6号をご覧ください。また当日は、まつだい診療センターで検討されているオンライン診療(看護師が患者を訪問し、ネット回線を通して自宅から医師とのやり取りを行うシステム)の実証実験もご覧いただく予定になっています。

松代松之山地域医療推進協議会では、4月以降においても要望内容が確実に実行されるよう注視していきます。

注目される松之山

く移住・定住の促進に向けた取り組みく

少子高齢化が進む中、地域の将来像を描くことがますます難しくなっています。松之山でも人口減少や担い手不足の対策は喫緊の課題です。

一方で、近年、豊かな自然環境や独自の文化が評価され、メディア等で松之山が紹介される機会が増えています。「大地の芸術祭」をきっかけに訪れる人も多く、豪雪地帯ならではの暮らしに魅力を感じる方が少なくありません。私たちにとっては苦勞の象徴である雪でさえ、外から見ると「ここにしかない価値」として受け止められているのです。

松之山に関心を寄せる方々には、地域とのつながりを深め、将来的には住民として仲間に加わっていただきたいと願っています。そのためには、まず私たち自身が地域の魅力を再確認し、自分の言葉で語れるようになることが大切ではないでしょうか。また、地域に暮らす一人ひとりが「移住者を迎える側」であるという意識を持ち、住まい探しや生活の立ち上げに可能な範囲で協力する姿勢も欠かせません。

何より、移住してきた方を温かく迎え入れる心こそが、松之山の未来を形づくる基盤となります。

空き家は地域の資源に

住まい確保への第一歩

移住希望者にとって大きな課題の一つが住居の確保です。松之山には賃貸住宅が少ないため、空き家の活用が移住促進の鍵を握ります。空き家を探している方は常に情報収集を行っており、空き家バンクへの新規登録は必ず注目されます。十日町市空き家バンクはこれまでも高い成約実績を上げており、登録が進むことは地域にとって大きなメリットにつながります。

特に年末年始やお盆、大型連休など、空き家所有者やその親族が帰省する時期は絶好の機会です。空き家の利用希望者とのマッチングを通じて、「管理し活用すること」で地域の役に立つ」という視点をお伝えしたいと考えています。空き家バンク制度の紹介リーフレットも用意していますので、地元の皆さんからお知らせの方にご紹介いただけると幸いです。



次の世代を迎えるために

雪里留学体験ツアーの取り組み

持続可能なまちづくりは、地域の未来を担う子ども世代の確保とも深く関わっています。小中一貫校・まつのやま学園には、特色ある教育をより多くの子どもたちが受けられるよう、学区外・区域外からも就学できる「雪里留学」制度があります。制度を利用してご家族で移住された例も生まれています。

松之山自治振興会では今年度、まつのやま学園への就学と移住検討を後押しする「雪里留学体験ツアー」を実施しています。第一回は昨年八月に行い、東京都から参加したご家族が教育環境や自然体験を通じて松之山の魅力を存分に感じて頂きました。さらに今月中旬には第二回を開催し、伝統行事や雪国ならではの生活体験、地元住民との交流を通じて、松之山での学びと暮らしをより深く知っていただく予定です。

(地域支援員 竹内密浩)



松之山の未来をつくるのは、ここに暮らす私たち一人ひとりの行動です。外からの視点を理解し、地域の魅力を育てながら、共に歩む松之山を目指していきましょう。



写真:

夏の雪里留学体験ツアー(8月開催)から



お買い物バスのお試し運行をしました



今年度より地域支援員として任用されました滝沢です。

近年相次ぐ店舗の閉店などにより、地域内では生活に必要なものが揃わない状況が生じています。少子高齢化が顕著に進む松之山にとつて、買い物の移動手段の不便さが今後でも安心してこの地で生活していくうえでの地域課題のひとつと捉え**『お買い物バスお試し運行』**をまつのやま青年女性まちづくり部会の新規事業として実施しました。

ポイント

- ・可能な範囲で自宅付近と店舗を繋ぐ
- ・買い物代行と違い自分で選んで購入できる
- ・品物の探しやレジなどサポート
- ・かさばる物や重いものを運ぶお手伝い



セイムス（写真上）・ユーモール（写真下）に立ち寄り、皆さん思い思いにお買い物を楽しんでいただきました。

『買い物に行くための移動手段』として当初企画したお買い物バスでしたが、乗り合わせた同じ地域や違う地域の方同士の交流の場としても

とても有意義なものとなりました。移動の車の中では「久しぶりだっけね〜」「顔見れてよかったよ」など話し声が途切れることなく、「みんなで車に乗ってお出掛けなんて、遠足みたいで楽しいね」「また次回もあって欲しい」と嬉しいお言葉もいただきました！



今回「うちはまだ運転できるから…」や「子どもと一緒に住んでるから…」と参加に躊躇された方も見受けました。もちろん自助・互助の意識はとても大切です。日常のお買い物とは別に、『みんなで出掛けする』『買い物の合い間におしゃべりができる』ことにお買い物バスの魅力を感じていただけたら幸いです。

今後についてですが、3月に運行を予定しています。

- ① 3月6日(金)布川地区・川手
 - ② 3月13日(金)松里地区・湯山
 - ③ 3月19日(木)三省地区・新山・光間
 - ④ 3月27日(金)浦田地区・黒倉・兎口・松之山
- (都合により別日に調整させていただく場合があります。ご了承ください。)

詳細は、2月の市報等の配布時に案内のチラシを回覧しますのでご覧ください。来年度は2ヶ月に1回程度の運行で企画を進めています。

最後になりますが、事業の実施にあたり車両をお借りした特別養護老人ホーム不老閣様、社会福祉協議会様、民生委員様、運転・付添ボランティアの皆様、地域おこし協力隊の皆様、ほかたくさんの方々のお力添えをいただき無事にお試し運行を終えることができました。ありがとうございます。今後とも変わらぬお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。



教育委員会の「魅力ある十日町市立中学校づくり方針(仮)」策定に向け 「みんなの学校プロジェクト」の活動が注目されます！

(3) 中学校の適正な配置 (提言書より)

□長期的視点に立つ適正な配置

- 30年後に1校とすることが、子供たちの学びにふさわしい
- 各学年3学級以上で5教科の教員複数配置が可能となる
- 上越魚沼地域振興快速道路など、交通網を考慮した適地に新設

□中期的視点に立つ適正な配置

- 10年後に既存校舎の活用や新校舎建設により、全市で新設の中学校を2校または3校とすることで、各学年の3学級の適正規模が保たれ子供たちの学びを保障できる
- 信濃川東側と西側、市域の南側と北側に配置することも考えられる
- 小規模特認校や学びの多様化学校、サブキャンパス、サテライト校など新しい学校の形も検討対象。また特色のある教育活動、通学状況、地域性の観点から、小規模校を維持することもありえる

特色ある教育活動や課外活動を展開し、生徒だけでなく市民が誇りに思い魅力的で自慢したくなる学校にする。そのための構想や方針を市民が十分理解し協力していける体制づくりが望まれる。

学区再編は10年後より早めることはあっても先送りすることは避けなければならない。

提言

□十日町市教育委員会
「魅力ある十日町市立中学校
づくり方針(案)」を策定

地域に提示

意見出し

「みんなの学校プロジェクト」
十日町市立中学校あり方検討委員会の
提言を踏まえ、必要事項について教
育委員会に意見を出す

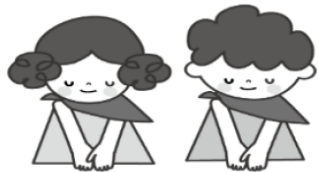
教育委員会が令和元年5月に第2次十日町市立小・中学校学区適正化に関する方針を示してから足かけ7年が経過しました。一旦は白紙化された中学校の再編計画は、新たに組織された十日町市立中学校あり方検討委員会が18回に及ぶ会議を経て、令和6年3月に提言書を提出しました。しかし地域での説明会などからは、計画の大半は理解できるが、たとえば将来の学校の数に対しては様々な意見が示されたことを受け、今一度市民が本音で話し合う場として組織されたのが、現在進められている「みんなの学校プロジェクト」(新しい十日町私立中学校をつくる検討会)になります。

改めて検討委員会が多角的視野で検討してまとめた将来の学校の姿についての考え方を左図に示しました。「みんなの学校プロジェクト」は昨年8月から毎月1回開催され、計画では8回目となるこの3月を最終回として進められています。教育委員会がこの検討会終了後に地域に示すとしている「魅力ある十日町私立中学校づくり方針(案)」において、会議で出された膨大な意見をどのように反映するのか注目されます。

「みんなの学校プロジェクト」のこれまでの開催日と当日のテーマ	
□一回目 8月28日	検討会説明、会議進め方
□二回目 9月29日	①育てたい子供の姿
②新しい学校で大切にしたい教育	
□三回目 10月29日	目指す教育の姿の実現に必要な学校施設・設備、または新しい学校に必要な学校施設・設備
□四回目 11月25日	①地域や社会との連携・協働体制のあり方 ②通学条件・方法
□五回目 12月15日	学校立地の候補地について
□視察 1月22日	まつのやま学園視察 (委員希望者)
□六回目〜八回目	1月〜3月に予定

松之山まちづくり応援寄付金をいただきました。【7/9～10/6 期間】

あ り が と う



おところ	お名前	おところ	お名前	おところ	お名前
新潟市	阿部みき子 様	上尾市	高石知子 様	横浜市	樋口義光 様
茅ヶ崎市	岡村玲子 様	三鷹市	福原 弘 様	葛飾区	比嘉知子 様
※2 回目	岡村玲子 様	—	—	寄付金計	265,000 円

松之山地域の活性化事業に
援寄付金としてご支援いただ
いている皆様に感謝申し上げます。
皆様からのご厚志は移住定住
促進など地域全体のまちづくり
事業や、各地区・集落単位での活
性化事業に活用させていただ
いています。

また新年度に向け、これまでの
松之山地域独自の寄付金案内書
の発送と合わせ、専門サイトを利
用しての寄付金もできるよう準
備を進めます。本年もよろしくお
願い申し上げます。



旧黒倉分校跡地を、集落のコミュニティ広場として再生活
用している【黒倉集落の取り組み】

令和7年度名老百選に高波悟氏が認定 されました【風土に関する部門（木工）】

今年令和4年以来3年ぶりに1名
の推薦があり、10月1日の名老百選選
定委員会で満場一致で認定されました。

新名老の高波悟氏（松口集落）は、旧

松之山町森林組合入職以降、現ゆきぐに
森林組合を退職するまで、林業・山菜加
工やなめこ工場建設など、長く林業関連
の発展にご尽力してこられました。その
豊富な経験を活かし、まつのやま学園の
開校当時から毎年開催されるコミュニテ
ィフィスティブアルの地域講師として、子
供たちに地元産の材を使った木工の楽し
さを学び伝える活動を続けています。

の出来栄えには驚かされます。

ブナ材など地元産の素材を活用する
ことへのこだわりを持ち、木工に親し
むという体験を地元の子供たちに提供
しつつ、自らも木工を楽しみながら林
業の大切さを広める活動は選考委員会
で高く評価されました。まだ名老基準
の70歳を超えたばかりの高波悟氏、こ
れからも大いに活躍していただくこ
とを期待しています。



❖10月26日開催の松之山産業祭オープニング
で認定書贈呈式を行いました。
左：高波悟氏 右：樋口一次自治振興会長

◇編集後記◇

明けましておめでとうございます。地域にもい
ろいろなことがあった昨年でした。下向きな話が
続くとへこみがちになり、次の一步が遅れがちに
なりますが、ダメなことはダメとしても、叶うも
のは叶う。何事もやってみなけりゃ始まん！と
いう気持ちでやろうと思ひ改めた元日でした。

毎年の初心が一年間続きますように自己祈念！

K.Nakajima



松之山自治振興会 事務局



<https://www.facebook.com/hai.koncho>

☎942-1406 新潟県十日町市松之山 1597-2（松之山支所 地域振興課内）

☎025-596-3131 fax:025-596-3515 E-mail: m_jichishinkoukai@yahoo.co.jp

【松之山の人口12月末】 総人口 1,510 人（男 721 人 女 789 人） 世帯数：731 世帯
（総人口 前月比：-12 人）